

事後評価シート

調査研究課題名	地方都市の新生・再生に向けて - 七名の有識者による地方都市問題解決への提言 -
担当者	頼 あゆみ 柴田 翼
当初目標と目標達成度	有識者の意見を踏まえ、地方都市が抱える問題を整理し、それに対応した取組みの方向性を提案することを目標とする。目標は一応達成できたと考える。
調査研究内容の妥当性	人口・経済規模、地方経済・地方産業、地方財政、地方自治、中心市街地という5つの切り口から、地方都市が抱える問題とそれに対応した取組みの方向性を整理した。地方都市問題はこれに尽きるものではないが、視点を明確にした点では妥当であったと考える。 また、各分野の専門家からいただいた講演や提言に基づいて整理を行ったが、国土交通省の立場から見た取組みの方向性を検討できれば、より充実した内容になったと考える。
調査研究の仕組みの妥当性	「地方問題に関する勉強会」を7回開催し、7名の有識者から指摘、提案等をいただくことにより、幅広い視点からの示唆を得ることができた。また、勉強会には、省内関係部局の政策担当者にも参加していただき、活発な質疑応答、意見交換が行われ、問題認識と解決への方向性を深めることに貢献した。これらの有識者の方々については、アドバイザー等の形で、さらに意見をいただいたり、意見交換ができる体制であればなおよかった。
成果と活用(予定)	今回の調査研究内容は、今後、我が国の都市政策立案に際し、参考となるべき有益な視点が盛り込まれている。都市政策担当者等への情報発信として、調査報告書をまとめ、関係部局に配布するとともに、HP上で公表し、希望者には報告書の配布、あるいは、HP上での閲覧ができるようにする。
その他	